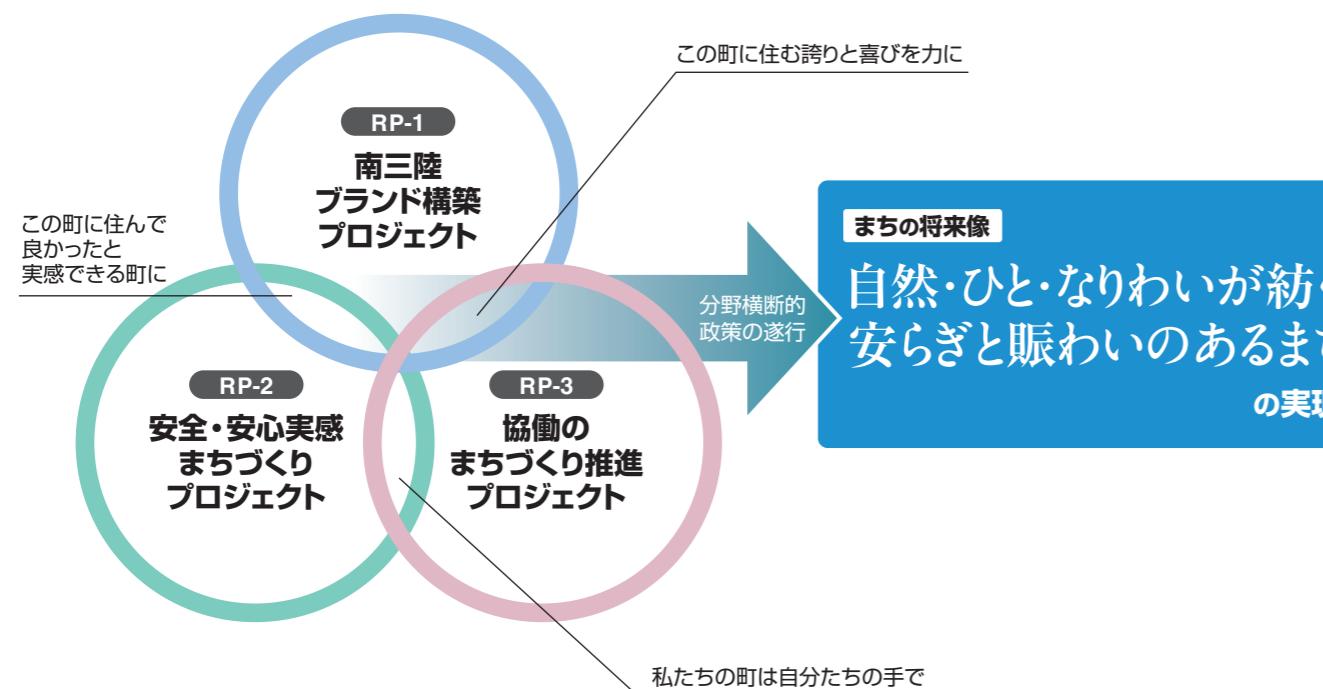


## 第2章 リーディングプロジェクト

まちの将来像「自然・ひと・なりわいが紡ぐ安らぎと賑わいのあるまち」を実現するため、特に重要性と先導性を持つ分野横断的な政策として、次のプロジェクトを積極的に推進します。



### RP-1 南三陸ブランド構築プロジェクト

#### 【基本的な考え方】

南三陸町の豊かな自然環境は、私たちの暮らし、生業に密接な関係を持ちながら過去から現在まで受け継がれてきました。近時においては、中山間地における体験や志津川湾内でのダイビング事業が定着するなど、自然を相手にした新たな起業化も図られています。しかし、地域経済を一層活性化させるためには、産業間の連携力を強

化し、食を中心とした地域資源を有効的に活用することによって、派生する経済的恩恵をくまなく享受できるシステムの構築が求められています。そのためには南三陸町ならではと呼ばれるブランドが必要であり、全国に展開できるものを創造するものです。

### RP-1 南三陸ブランド構築のために 付加価値を高める施策



#### 自然 nature

##### 食のブランド化推進事業

- この地域から生み出される物に、『自然』の付加価値を高める施策によって、他の地域との差別化を図り南三陸ブランドを確立するものです。
- 地域ブランド推進計画策定
  - 農林水産物のブランド開発支援
  - ブランド品目統一ロゴの設定検討
  - 環境配慮型農業推進事業
  - グリーンツーリズム農林業活用事業
  - トレーサビリティーシステムの確立
  - エコカレッジ事業

#### もてなし hospitality

##### 観光地ブランド化推進事業

- この地域に、『hospitality・もてなし』の付加価値を高める施策を講じ、他の観光地との差別化を図り南三陸ブランドを確立するものです。
- ボランティアガイド育成
  - 総合観光案内所創設
  - 情報発信ネットワーク形成
  - 仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けての受け入れ態勢整備
  - 空き店舗有効活用事業
  - 環境美化活動の推進
  - 体験型観光推進事業

### RP-2 安全・安心実感まちづくりプロジェクト

#### 【基本的な考え方】

この町に住んで良かったと町民が実感できる要素のひとつが、暮らしの安全・安心に対する備えができていることです。特に、県沖地震に対する地域防災体制、医療に関する社会基盤や仕組みを改善していくとともに、健康を害

したり、罹患した際の一次医療サービス提供の機会充実が求められます。このため、町民の暮らしの安全・安心に関連する各種事業を包括的に実施し、真に安全・安心を実感できるまちを創造するものです。

### RP-2 安全・安心実感まちづくりのために 各種事業を包括的に実施



#### 災害に備えるまちづくり事業

- 津波・高潮危機管理対策緊急事業
- 防災行政無線システム整備事業
- 地域防災計画に基づく防災体制強化
- 住宅の耐震性の向上
- 自主防災組織育成支援

#### 地域医療体制を強化するまちづくり事業

- 公立志津川病院を核に町内の医療機関との病診連携強化
- 町外の高度医療施設との間の広域的な連携強化